八幡塾・祭囃子特集号

やわたコミュニティ

第８８号
平成28年2月29日
発行　八幡コミュニティ
責任者　寺島康夫　TEL 33-3230
印刷　八幡コミュニティ
編集　総合管理本部

第2回≪ふるさと検定試験実施≫

「やわた博士」２４名誕生 !!

平成28年1月17日
於　青少年会館

第二回ふるさと検定試験（写真左）を受験された二十九名のうち、二十四名が「やわた博士」に認定されました。第一回の認定者二十七名と合わせて計五十一名になりました。

二月十一日には「やわた博士の集い」を開催し、「今後のやわた博士の活躍の場を求めて」をテーマに熱心な討議がされました。（写真下）

ふるさと検定試験問題

何問できますか？傍線部分が正しければ○、誤りであれば×で答えてください。

【問題1】昭和三五年に八幡・岡田・旭（あさひ）の3町が合併して知多町となり、昭和四五年に市制を施行（しこう）して知多市が誕生した。

【問題2】明治十一年に平井（ひらい）村、中島（なかじま）村、荒古（あらこ）村、廻間（はさま）村が合併して八幡（やわた）村ができた。

【問題3】久野庄太郎（くのしょうたろう）氏は、昭和二二年に中部地方を襲った大干魃（かんばつ）を機に用水の必要性を痛感して愛知用水運動を開始した。

【問題4】尾張万歳（おわりまんざい）は農間期の貴重な収入源となる出稼ぎとして引き継がれてきた。江戸時代になると、大名屋敷や武家屋敷へ万歳に行くようになった。このような座敷にあがって演じる万歳を門付（かどづけ）万歳と呼ぶ。

正解
【問題1】×【問題2】×
【問題3】○【問題4】×

八幡地区祭囃子保存伝承活動

新春ボーリング大会（一月十日）

名古屋グランドボールにて、新春ボーリング大会を盛大に開催しました。一般18名（高齢者2名）、小学生9名の合計27名が参加してくれました。

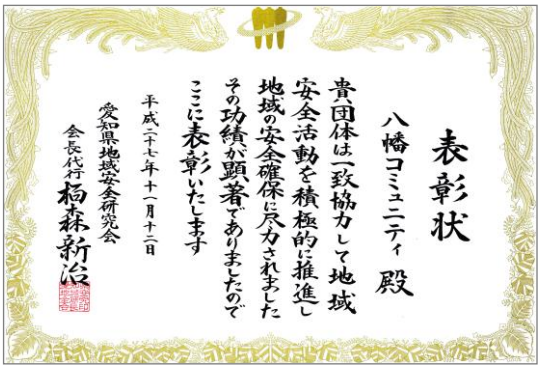
安全なまちづくり県民運動(8/1)

交通安全県民運動(12/5)

フィールアストリーにおいて、環境・安全部会の皆さんが夏の安全なまちづくり県民運動のPR活動をしました。

地域管轄部会（組長・町内会長）及び環境・安全部会の皆さんにより、年末の交通安全県民運動として寺本駅乗降客への啓発活動、堀切交差点での交通安全立哨を行いました。

これら八幡地区の熱心な安全活動が評価され、愛知県地域安全研究会から「地域の安全活動を積極的に推進し、地域安全確保に努めた」功績により表彰されました。



表彰状

八幡コミュニティ　殿

貴団体は一致協力して地域安全活動を積極的に推進し地域の安全確保に尽力されましたその功績が顕著でありましたのでここに表彰いたします

平成二十七年十一月十二日

愛知県地域安全研究会
会長代行　栃森新治

お知らせ

ふるさと検定　八幡塾

平成28年度は
《郷土の伝統・文化を学ぶ》
をテーマに

映像で残す郷土の祭儀

八幡各地に残る祭儀などの撮影に出向き、
ビデオに保存する事業を展開します。

住民参加・住民が主役、ふるさとの素顔を記録

八幡の伝統・文化を後世に
「八幡の祭儀シリーズ」(全8巻)

（問合せ先）事務局　平松正毅　TEL 32-1019